No.65
2021. 10

長野県建築士会 佐久支部 ちくま

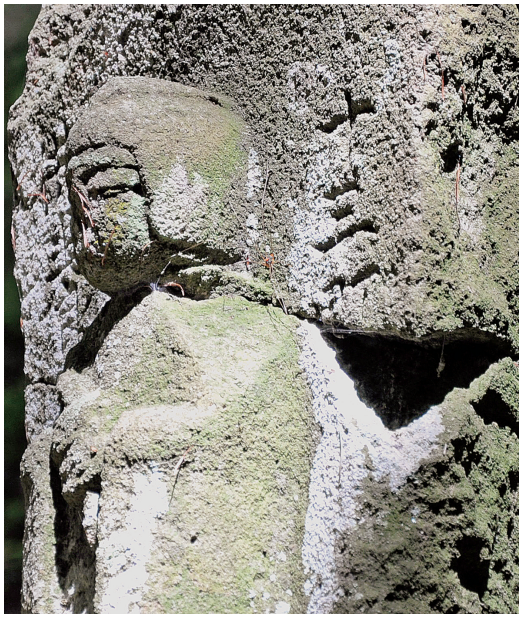
佐久の札所

第11番札所　水落観音堂

佐久市臼田丸山

県道下仁田臼田線（田口峠）の登山口（標高810m）から水落観音（標高1125m）まで霊場に相応しい険しい山道を登る。六丁から壱拾八丁まで路傍にある壱拾参石仏が道案内してくれた。壱拾七丁石仏付近には獅子岩の巨岩、さらに登ると城郭を思わせる大石積が現れる。

壱拾八丁石仏と崩れかけた石段の上に灯篭と観音堂、稲荷神社がある。水落の名前の通り、そそり立つ岩壁の隙間から清水が滴り落ちてくる霊場。



もくじ

支部長あいさつ…… 2
建築課長あいさつ…… 3
関ブロ協議会に参加…… 4
委員会活動について… 5 ～ 7
新入会員の紹介…… 8
ウッドクラフト…… 8
賛助会員の紹介…… 9
県からのお知らせ……10～11

ご挨拶

公益社団法人　長野県建築士会佐久支部　支部長
菊池　弘之

８月も過ぎ、秋の気配を感じる候、会員の皆様には益々のご健勝・ご活躍の事とお慶び申し上げます。

2021年２月の臨時協議会に於いて、承認して頂き支部長を務めさせて頂くことになりました。

どうぞ、宜しくお願い致します。

2020年頭より現時点まで新型コロナウィルスは猛威を振るい、現時点でも終息の目途は無く、建築士会の活動も昨年度より企画・計画を各委員長の方々が発案して頂けるのですが、殆どの事業は残念ながら中止となり、活発な活動が代名詞の佐久支部としては、１日も早く、以前の活動になることを待ち遠しく思う会員の方々ばかりと考えます。

今後の佐久支部の事業は予算の関係もありますが、ネットワーク・建築文化賞以外は継続の考えです。

情報委員会からの発案で、ホームページのリニューアルを既に進めております。

佐久支部の方向性を考えながらの事業を決めて行きたいと考えております。具体的には総務委員会より幹事会議事録のメール配信・基金の方向性・隔年での視察研修です。既に、ご案内が到着のタイミングですが、会員の皆様の健康・安全を第一に９月下旬にコロナの動向を踏まえ、実行か延期か決定致します。

教育・事業委員会での見学会。

地域貢献委員会でのリモートでのウッドクラフト。

地域まちづくり委員会での空き家対策等。

青年女性委員会の様々な企画等。

今後、各委員長より事業のご案内があるかと思います。

本会主導のネットワークが東信ブロックで2022年秋頃、開催の方向です、2021年前半は実行委員会立ち上げ　後半は開催場所・内容の検討と決定。

翌年の前半具体的実施内容検討・決定し秋季に開催に向けた委員会構成が９月３日の理事会において審議事項より承認されました。以前より課題の、支部の負担軽減を考えた開催を考慮した内容の審議事項でした。

開催場所は未定ですが、東信ブロック内は決定ですので、皆様のご協力をお願い致します。

2022年６月に関ブロ長野開催も青年委員の方々が準備に取り掛かっている模様です。

此方も併せてお願い致します。

佐久支部内の先輩に『建築士本人が、楽しくワクワクする様なプレゼンをしろ、そうでなければ、施主も楽しくない。』

その言葉を借りて、佐久支部の執行部は、楽しい企画をしなければならないと考えております。

建築見学会・視察研修他、イベントも考えますので、ご参加頂き、皆様のご協力の元、共に邁進する考えです。

宜しくお願い致します。

会報の発刊によせて

長野県佐久建設事務所　建築課長
中村　　均

建築士会佐久支部の会報の発刊にあたりご挨拶申し上げます。

昨年度も、コロナ一色でしたが、今年度は更に状況が悪化しました。ワクチン接種が進み、社会全体で感染対策を行うことで、終息してくれることが切に望まれるところです。

さて、今年度県予算におけるキーワードの一つとして、「ゼロカーボン」が挙げられています。令和元年11月、知事が「気候非常事態宣言」を宣言しました。この中で「2050年二酸化炭素排出量実施ゼロ」とする決意を表明しています。これを受け、県では、翌令和２年度に「長野県気候危機突破方針」策定しました。住宅分野での目標として、二つの目標が設定されています。一つ目が「2030年『新築住宅におけるゼロカーボン住宅の実現（100％）』」であり、二つ目が「2050年『住宅ストックの平均でゼロカーボン化の達成』」です。特に2050年の目標については、平均での達成となり、その時点に残っている断熱性能の劣る住宅をカバーするため、ＺＥＨ（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）基準を超える住宅が普及している必要があります。

そのため、県では今年度、高い断熱性を有し地域の資源を活かした快適で健康的な住宅建設のための技術指針・基準として、「信州型健康ゼロエネ（仮称）指針」を年度末までに策定する予定としております。また、新築住宅への助成金として、「信州健康エコ住宅助成金」を創設しました。この助成金は、これまでの環境配慮型住宅助成金（新築タイプ）に比べより高い断熱性能が求められる一方、助成金の上限も80万円から100万円に上がっております。具体的には、外皮性能が平成28年の省エネ基準からＺＥＨ基準とすることであり、加算する場合は外皮推奨基準を満足する必要があります。佐久地域の省エネ区分は、２地域及び３地域となっており、ＺＥＨ基準等を達成するには、厳しいと感じられると思いますが、遠からず国により義務化されていくこととなると思います。

長期優良住宅の認定申請書などを拝見していると大手ハウスメーカーなどは既にＺＥＨ基準や外皮推奨基準をクリアしている商品を供給している者も見受けられます。また、自社の本社新築に際し、ＺＥＢ（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）として新築された先進的な取組みをされている地元の建設会社さんもあります。このようなことから新築住宅に現行の省エネ基準以上の性能が求められることが当たり前となる未来が直ぐそこまで来ている状況です。会員の皆様におかれましても、2050年の目標達成に向け、ご協力いただきますようお願いいたします。

最後に、県の建築・住宅行政に一層のご支援・ご協力を賜りますようお願いするとともに、建築士会佐久支部の益々のご発展と、会員の皆様方のご健勝とご活躍を御祈念申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

令和３年度関東甲信越建築士会ブロック会青年建築士協議会に参加して

佐藤　成暁

６月19日に茨城県水戸市で開催されました関東ブロック協議会に参加させていただきました。この茨城大会はコロナ禍で開催が１年延期となり、また開催される今大会は全てがリモートでの配信となりました。僕は当日の朝に現地入りしました。そしてリモートでの配信風景を直で見る事を楽しみに会場入りしました。配信会場となる会議室に入ると、広くない会議室の中には配信作業用のＰＣ器材と小さなテレビ局のような雰囲気の撮影ブースが用意されており、リハーサルを行う茨城メンバーからは今日にかける思いが伝わってきました。

茨城大会のテーマは「ＵＮ➡ＤＯと建築」

こんな状況だけど、「どうする？」

ただ現状を否定するだけのＵＮではなく、これからを見据えてＤＯする。

ＵＮ➡ＤＯにシフトしていきたい。

否定的ではなく前向きにＤＯ（アクション）していく意識を持って行きたい。

ＵＮを否定してＤＯを肯定する、この「ＵＮ➡ＤＯ」を我々建築士が考えていく。

2020「運動と建築」　→　「ＵＮ➡ＤＯと建築」

今の状況でも前向きに出来ることを考えてそれを今、精一杯やろう。

彼らの姿から僕はそんなことを感じました。

リモートでの大会は参加者が現地に来ているような雰囲気で一体感が生まれる大会でした。

また第１分科会の発表では、発表者と司会者を繋いでのトークを織り交ぜており、見ている方は録画なのか現地なのか？と思う配信となりました。

この時には長野代表上伊那支部の安藤さんは、素晴らしい発表で最優秀賞となりました。

他の方々の発表や第２第３分科会の全ての配信が終了となり、茨城建築士の面々からは安堵の笑みと感動の涙が溢れていました。延期からこの日を迎えるまでの色々な思いがあったと思います。茨城大会の成功を心から称えたい。

僕が参加させて頂いたのには理由がありまして、令和４年度は長野県で開催されます。

10年前の大会が懐かしい先輩方もおられるのではないでしょうか？

長野大会は「　再生　～ずくだせ建地区士～」というテーマで令和４年６月16～18日と開催されます。

古民家や中古住宅や昔の地域をリノベーションした再生や、台風19号による被害からの地域や住宅の再生をテーマに、地域での建築士のありかたをもう一度考えよう。ずくだそう！という前向なメッセージある大会が開催されます。

僕は茨城大会の経験と気持ちを活かして、長野大会を成功できるようにずくだしたいとおもいます。

佐久支部の多くの会員の皆様の参加を心からお待ちしております。

令和３年度

新年度の委員会活動について

総務企画委員長　上原　啓二

令和３年度より総務企画委員長を努めさせていただくことになりました、御代田・軽井沢地区の上原と申します。支部長をはじめ、副支部長、委員、事務局の皆様と協力しながら本年度も事業を進めてまいりますので、皆様のご協力をお願いいたします。

さて、本年度の総務企画委員会の事業についてですが、三団体親睦ゴルフコンペ、三団体合同研修旅行、令和３・４年度版「会員の手引」の作成、緊急災害時連絡網の整備、新年講演会の実施が主なものとなります。

三団体親睦ゴルフコンペは残念ながら新型コロナウイルスの感染が拡大している状況を鑑み中止させていただくこととなりました。

また、三団体合同研修旅行については11月に一泊二日で計画をしているところではありますが、こちらにつきましても感染拡大の状況を注視しながら実施の可否を判断することになります。

令和３・４年度版「会員の手引」は皆様のご協力により発行準備が整いましたので、近々お手元に届くかと思います。会員名簿の他、建築士会の定款や規約、組織図等も掲載されています。

緊急災害時連絡網は、災害時に県・市町村との協定に基づいた被災建築物応急危険度判定を実施する際に重要な連絡網ですので、実情に合わせた更新を行っています。

年明けには例年通り、新年講演会を予定していますが、こちらにつきましても新型コロナウイルスの感染状況が不安です。９月１日現在、長野県でも１日の感染症陽性者数が100名を超える日もあり、全県の感染警戒レベルが５となる「新型コロナウイルス特別警報２」が発出されています。気軽に外出もできない状況であり、総務企画委員会も会議はリモートにて実施している状況です。ワクチンの数もやっと増えてきたようですので、接種が進み感染状況が落ち着き普通の生活が早く戻ってくることを願っています。

何かと不慣れな部分も多々あり、ご迷惑をおかけすることもあるかと思いますがよろしくお願いいたします。

令和３年度

今更ながらのハイブリッド活動の模索

教育事業委員長　大町　栄一

新型コロナ最多感染者数が発表される最中に、東京2020オリンピック、パラリンピックが開催されました。どうしても日本の威信を示さなければならなかった大会で、経済的にも政治的にも、また人命的にも多大な犠牲を強いられたのではないでしょうか。

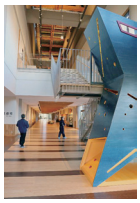
国民の半数が開催を懸念するも、関係者はここまでやってきたのだから対策を万全にして開催すると決定し実行しました。万全な対策としながら強制力に乏しく拡散とまではなりませんでしたが感染者も出て、会場周辺の地域では一般の医療体制が危機的な状況となったようです。スポーツ界最高のお祭りですから、競技者も関係者も観客も普段はあまりスポーツに興味のない人もそれなりに期待し、すばらしい感動を得ることができました。しかしながらコロナ禍で日々の生活もままならない人が大勢いる実情でいかがなものかと今更考えさせられます。

大勢の人が集まれない、長い時間の会議や集会が開催できない、公共施設の使用ができないなど、建築士会の活動も今までに行ってきたイベントや活動を継続することが非常に困難な状況になっています。

このような状況下で教育事業委員会としてできることは何なのか、委員会において検討しておりますが、これという決定打が出てきません。講習会や見学会は対象を選定しておき、コロナの様子を見ながら開催できるようであれば実施しましょうとか、ｗｅｂを利用した講習会（外部開催を含む）や視聴見学会をやってみたらどうでしょうなど、ｗｅｂ講習会ではＣＰＤ単位の認証ができるものを対象として選定する等、試行錯誤して検討している状況です。

今般は会員の方や一般の方からも、見学物件の紹介ならびに講習会の企画提案をいただいております。たいへんありがたくご意見を頂戴しております。

一つの手段に固執せず、いろいろなやり方や方法によるハイブリッド方式での活動を模索しています。多くの皆様からご希望ご提案を生かして、教育事業委員会員共々コロナにかからぬよう、うつさぬよう活動していきますのでよろしくお願いいたします。



令和３年度

令和３年度地域貢献委員会活動について

地域貢献委員会委員長　小泉　正樹

この新年度より前星野委員長の後任として「地域貢献委員長」を仰せつかりました佐久市の小泉です。

前年度まで当委員会では、毎年恒例となりました「ウッドクラフト」の他、地域各市町村との災害協定に基づく「防災マップの新規作成」、佐久南インター周辺花壇整備の「アダプトシステム」作業、埴科・上小支部との３支部合同での東信ブロックと活動が多岐に渡っておりましたが、今年度は主に「ウッドクラフト」と「防災マップの整備」に重点をおき活動を行う予定です。

先ず「ウッドクラフト」についてですが、昨年度は感染拡大した新型コロナウイルスの影響により、初めて「ｚｏｏｍ」を用いたリモートでの開催を試験的に行いました。

10年以上のウッドクラフトの歴史の中で、初めての試みでしたので、開催前には委員からも不安の声もありましたが、結果参加された児童ご家族並びに士会会員のスタッフからも好評を頂くことが出来ました。

当初今年度は通常開催を期待しておりましたが、一向に衰えない新型コロナウイルス感染状況から、先の委員会で止む無く昨年に引き続きリモートでの開催が決定致しました。

（今後の感染状況により更なる変更もあり得ます）

昨年度ご都合によりスタッフとしてご参加頂けなかった会員の皆様には、是非この機会にご参加頂ければと思います。

また「防災マップ」につきましては、昨年度で佐久地域各市町村のマップ作成も一先ず完了しておりますので、今年度は総務委員会からの指示を受け避難施設変更等に伴う訂正とより利用し易い形式でのデータ整備を進める予定でおります。こちらも作業量により一般会員の方々へのお手伝いを依頼する機会があるかもしれませんので、その節は皆様のご理解ご協力を何とぞ宜しくお願い致します。

令和３年度

支部のホームページ

情報広報委員長　両川　　正

長引くコロナ禍で難しい局面の中、会員の皆様におかれましては、工夫され、ご健勝の事と思います。また、原稿の執筆して下さる皆様にはご協力に御礼を申し上げます。

さて、委員会も公私に多忙の中、本年度よりホームページのリニューアルに着手しております。数年前には長野県建築士会が一般社団法人から公益社団法人に移行した事もあり、新しいホームページでは、広く一般の方々で建築したい方と、会員の皆様の縁結びが出来れば、建築したい方良し・建築士会良し・会員良しの三方良しが出来ると思っておりました。しかし、建築士会の在り方で、個人名・会社名を表面に現わさない特性があって、よって収益事業のお手伝いをする事は出来ないと知りました。

ＨＰの制作を依頼している担当者には、アクセス数が上がるご提案を頂いております。例えば「今のインターネットはビジュアルが命です、画像が汚ければ、文章まで読まれることはありません！」また「建築に関しては、女性目線の柔らかなコラムが、週に１度程度アップするとニーズがあります！」。

せっかくのご提案でも、これはハードルが高くて、情報広報委員会だけでは手が回らない状態です。
また、資本主義社会の中で収益に結びつかないＨＰのアクセス数を上げる努力をしても、ギアを入れないで空ぶかししている車の様で、どこかもどかしい感もあります。

本会を含め佐久支部も会員数の減少が喫緊の問題となっている中、会員増強の為にも、不公平にならない縁結びができないかと個人的には思っている次第です。

さて、話しは戻しまして、佐久支部のＨＰを賑やかにする様に、一般の方に向けたコラムを書いて頂ける方、会員の仕事の紹介ができる様な竣工写真や、工事途中の写真、工夫を凝らして設計している模型の写真等を提供して頂ける方がいらっしゃればご連絡をお願い致します。

令和３年度

青年女性委員会について

青年女性委員長　飯田　　智

この度、青年女性委員長を仰せつかりました飯田智です。今後ともよろしくお願いします。

前委員長の鎌田さんより委員長を引き継いで、早くも４か月が過ぎました。

昨年度、今年度と今まで青年女性委員会の中枢を支えてくださった、多くの先輩方が卒業していきました。コロナ禍で送別会などもままならない中、この紙面をお借りして、今までの活動のお礼をお伝えしたいと思います。お疲れ様です。ありがとうございました。

現在の佐久支部の青年女性委員会のメンバーは、名簿上では52名です。私が当会に入会させていただいた18年前から年々メンバーが減り続けています。この業界で若者が減り続けている話が現場ではよく聞かれ、自分の大好きなこの業界の魅力をもっと伝えなければと感じながらの毎日です。

そんな青年女性委員会の目標は「新規会員拡大」です。年々減り続ける会員数に、嘆いてばかりいられません。建築士同士の情報交換、意見交換の場を設け、積極的に自らが楽しみ、士会のメリットを自分から取りに行くそんなメンバーの集まりにしていきたいと考えます。

その為に、参加して良かった・参加すると面白い事がありそうだと感じてもらえる活動を計画していきたいと考えます。

今年度の活動ですが、継続事業として「御代田フットパス」です。コースの手入れを続け、地域の方との連携を図りながら継続していく計画です。

長野県建築士会本下の事業として、令和４年度に開催する関東甲信越建築士会ブロック大会青年建築士協議会長野大会（関ブロ大会）の運営協力・信州エココンテストの協力などがあります。

新規の活動としましては、旧大沢小学校を会場にしたイベントの企画・「大沢どんどん」、新規入会者を誘い出す見学会の企画、資格取得を皆で目指す「目指せ資格取得」などを考えています。ぜひお楽しみに!!

コロナ禍で、人と会う事・飲食を共にする事が難しくなり、マスクが当たり前になりました。人と人とが会って話す事で、情報交換が盛んになる世の中だと自分は思っていましたので、画面を通じてだと何だか物足りない…皆さんに普通にマスクなしで会いたいですね。コロナ禍で新しい価値観ができる中で、人とのつながりの新しい形を創る良いきっかけなのかも知れません。「青年女性委員会」よろしくお願いします。感謝

令和３年度

令和３年度委員会活動について

地域まちづくり委員長　小泉　　仁

長期にわたるコロナ禍の中、地域まちづくり委員会は新規に発足してから２期目となります。なかなか思うような活動ができず歯がゆい日々ですが、前向きに今できる活動をしていきたいと思っております。

現在進行中の活動としては、第一に継続事業として佐久穂町の新築助成金工事完了項目チェック事業への建築士の派遣業務があり、日頃佐久穂町より派遣業務があった際には会員の方々に業務をお願いしております。今後も業務依頼をお願いした際にはご理解、ご協力の程よろしくお願いいたします。

第二に佐久市、小諸市の空き家対策協議会への協力です。これは佐久、小諸各市に委員の方が１名ずつ協議会に参加しており、不定期開催でございますのでその都度ご報告いただいております。

第三にインスペクション（既存住宅状況調査）に力を入れるべく、不動産業者・行政向け又、一般ユーザー向けにわかりやすく噛み砕いたチラシの作成をしております。

今後の活動としては、継続事業のほかに行政へ積極的に建築士会佐久支部として介入していくための検討と模索、教育事業委員会に協力して頂きインスペクション（既存住宅状況調査）の講習・勉強会の開催をし、会員の方々の知識向上のお役に立てればと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

今後とも地域まちづくり委員会の活動にご理解、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

空き家対策対象の建物

新入会員の声

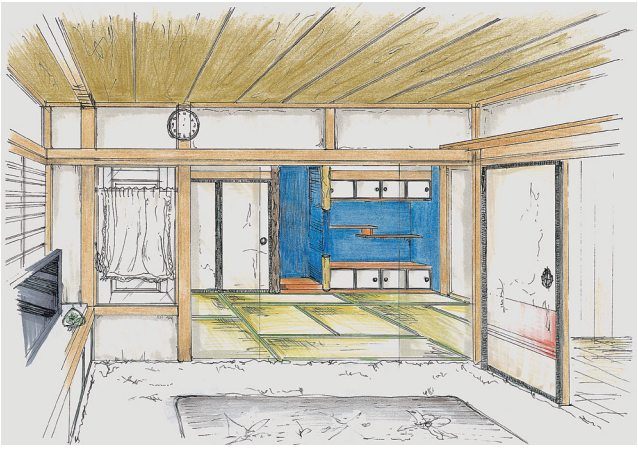
武田　百華

この度、長野県建築士会佐久支部に入会いたしました、武田百華と申します。去年（令和２年４月）に社会人となり、（仕事を辞めていた時期もあるため…）社会人経験・建築士経験10か月目です。そんな経験の浅い私を、温かく迎えていただきありがとうございます。

建築の道に進むと決めたのは、美術大学のオープンキャンパスに行った時です。進路選択の期限が迫っていたため、直感的に決めたのが建築系のデザイン学科でした。その後大学は諦め、群馬の建築系の専門学校に入りました。「親の仕事を継ぐため」「憧れの建築士がいる」「小さい頃から建築に興味があって」そんなキラキラした人達の中で静かに勉強をし、３年目に２級建築士免許を取得しました。絵を描きたかったはずが、気付いたらすごいところに来てしまったと思うこともありましたが、建築の奥深さを知り、パースに出会い、私もこの仕事がしたいなと思うようになりました。

そして現在は堀内組で住宅の設計をしています。これからたくさん経験を積みお客様の要望に応えられるようにしていきたいと思います。まずは仕事に慣れながら、建築士会の活動にもできるだけ参加できるよう頑張りたいと思います。よろしくお願いいたします。

まだ、お見せできる建物などはないので、最近かいた自宅の内観パースです。将来はパースをかく仕事ができればいいなと練習中です。



今年もやります！　リモートで！

リモート版　親子でつくろう！ウッドクラフト2021

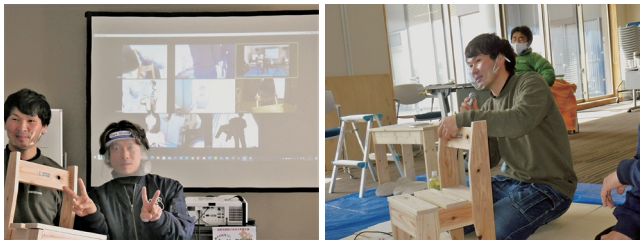
地域貢献委員会

新型コロナウイルスの終息が見えない中、昨年度のウッドクラフトはリモートにて開催いたしました。初の試みではありましたが、参加された多くの方々より好評を頂いております。

コロナ禍から１年以上が経った現在も未だ勢いが衰えない事から、今年度も昨年同様会員の皆様のご協力を頂きながらリモートでの開催とする事と致しました。よろしくお願いいたします。写真は昨年のウッドクラフトの様子です。

材料配布　イオンモール佐久平にて

リモートによる作り方の指導　佐久武道館会議室



リモート指導も無事終了！
講師の皆様お疲れ様でした！
今年も、お手伝い頂ける方を募集中、事務局までのご連絡をお待ちしております。

賛助会員の紹介

株式会社　新津組

長野県建築士会佐久支部会員の皆様におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

弊社は、1909年に創業以来、千曲川上流地域の水力発電や鉄道工事関連の土木工事を主体に事業を拡大していきました。戦後には、1949年に建設業法施行に伴い、長野県最初の建設業登録（イ）第１号を取得し、以降は長野県立美術館や佐久穂町新庁舎などの公共建築や八ヶ岳・軽井沢の別荘を中心として民間建築にも事業領域を拡大し、100年以上の社歴を重ねることができました。

世界では新型コロナウイルスの蔓延、米中貿易摩擦やウッドショックによる木材価格の高騰などの暗い話題が続いています。しかしながら、経営理念である「法令遵守、堅実経営、誠実施工」のもとに、社会で信頼され魅力ある企業としてこれからも邁進してまいります。皆様方に置かれましても、更なるご健勝とご発展をお祈り申し上げます。

本　　社：南佐久郡小海町大字小海4399-１
代　　表：新津　悟
創　　業：1909年３月
資 本 金：4000万円
売　　上：94億3200万円（令和２年度）
従 業 員：126人（令和２年度）
事業内容：総合建設業、不動産売買、ミサワホーム、パッシブハウス、ＳＥ構法住宅、各種リフォーム工事
事 業 所：本社、軽井沢支店（軽井沢町軽井沢）、佐久支店（佐久市岩村田）、東御営業所（東御市田中）、山梨事務所（山梨県北杜市高根町）、リフォーム部（佐久市大沢）、住宅事業部（佐久市岩村田）、佐久市展示場（ＪＲ佐久平駅東ＳＢＣ佐久平ハウジングパーク内）、軽井沢展示場（新津組軽井沢支店となり）

賛助会員の紹介

株式会社タカサワマテリアル

長野県建築士会佐久支部会員の皆様には日頃大変お世話になり有難う御座います。

弊社、株式会社タカサワマテリアルはセメント・生コン・建築資材・土木資材・砕石・鋼材の販売、建築・土木・鋼材に関わる各種工事、また「佐久インターウェーブ」の商業施設の運営を社業として、創業の地である佐久に本社を置き、長野・上田・松本・佐久の長野県内各地に拠点を構え営業しています。主な事業内容は以下のとおりです。

・建築資材　建築に関わる様々な資材の販売や各種工事の請負を業務としております。

地域の公共建築物や企業様の中低層ビルなどに対しガラス・サッシ工事を中心に工事や材料の販売をしております。また戸建住宅の新築やリフォーム資材を全般的に販売し、グリーン化事業の事務局としての機能を活かし、地元ビルダー様に対し多様化する国策に沿ったサポートをトータルにご提案しております。

・セメント、生コン　生コンクリートの製造をはじめ、建設基礎資材のセメント販売及びコンクリート製品販売を行っております。また、当社は住友大阪セメント株式会社の特約店です。

・土木資材　河川・地盤改良、道路整備・改修などの工事と資材の販売を通じて、快適で安全な暮らしを支える環境の整備および保全を行っております。

・砕石事業　砂利、路盤材・生コン骨材用の良質な石の砕石販売と大小あらゆるサイズの自然石・巨石の販売を行っております。

・鋼材　建築・土木の各種工事における素材としての鋼材販売と、素材の加工から工事に至るまで、幅広く対応いたします。

・ＳＣ事業　地域に根ざした、快適で親しみやすいショッピングセンター「佐久インターウェーブ」を運営し、豊かな自然環境を活かした、癒しの空間でのショッピングをお楽しみ頂けます。

今後もさらに皆様と御一緒に夢の実現に向け歩み続ける為に御指導、御愛顧の程を宜しく申し上げます。

最後に長野県建築士会佐久支部会員の皆様の益々の御活躍、御発展をお祈り申し上げます。

ROAD TO ZERO CARBON

令和３年度信州健康エコ住宅普及促進事業

信州健康エコ住宅助成金
環境配慮型住宅助成金（新築タイプ）

高い断熱性能を有し、県産木材※1 を活用した住宅を新築する場合に、助成金を交付します。

断熱性能を高めることで、冬あたたかく夏涼しい快適な住まいとなるだけでなく、ヒートショックが予防され健康にやさしく、また、光熱費が少ないエコな暮らしとなります。

信州の木の香る、あたたかく快適な住まいで、健康・エコに暮らしましょう！

助成対象者　県内で自己の居住用に対象住宅を新築する方

助成対象住宅　基本基準に適合する住宅

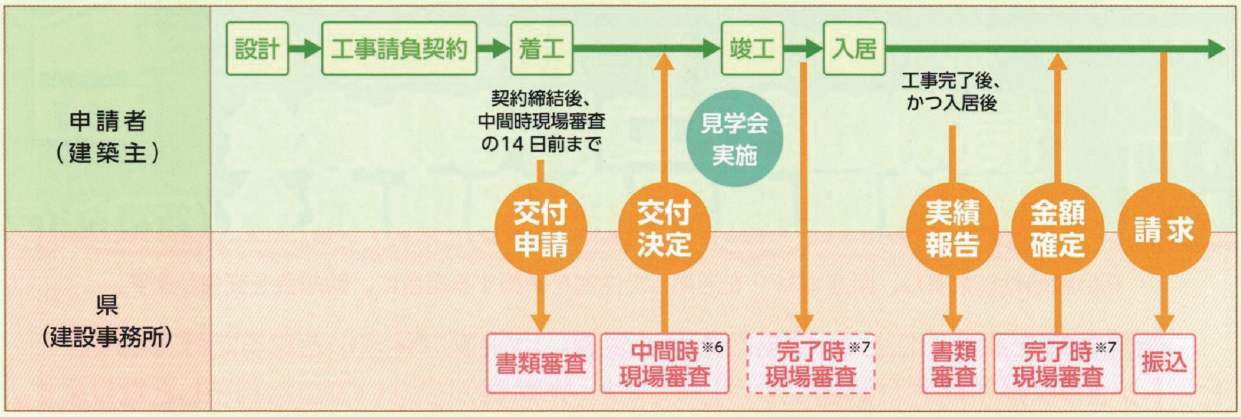
助成要件及び助成額

信州健康エコ住宅助成金 最大合計 100万円	1～6のすべてに適合する場合に、**50万円**を助成	Ⅰ～Ⅲのいずれかの要件に該当する場合は、右欄に掲げる額を加算
	1 一戸建ての木造住宅 （または店舗等の床面積が 1/2 未満の店舗等併用住宅） 2 住宅部分の床面積が 75 ㎡～280 ㎡ 3 県内に主たる事務所を置く者が施工 4 一般向けの住宅見学会を実施※2 5 ゼロエネ基準※3 に適合 6 県産木材を延べ面積 0.12 ㎥／㎡以上使用	要件 ／ 加算額 Ⅰ 外皮推奨基準※4 に適合 ／ 30万円 Ⅱ 自然エネルギー設備を導入 ／ 10万円 Ⅲ 県産木材を延べ面積 0.16 ㎥／㎡以上使用 ／ 10万円
	基本基準	選択基準
環境配慮型住宅助成金 （新築タイプ） 最大合計 80万円	①～⑧のすべてに適合する場合に、**30万円**を助成	❶～❼に該当する項目の数に応じて加算 3項目：20万円 4項目：30万円 5項目：40万円 6項目以上：50万円
	① 一戸建ての住宅 （または店舗等の床面積が 1/2 未満の店舗等併用住宅） ② 木造住宅 ③ 住宅部分の床面積が 75 ㎡～280 ㎡ ④ 県内に主たる事務所を置く者が施工 ⑤ 一般向けの住宅見学会を実施※2 ⑥ 省エネ基準※5 に適合 ⑦ 県産木材を延べ面積 0.12 ㎥／㎡以上使用 ⑧ 設計者及び工事監理者又は施工者が住宅省エネルギー設計（施工）技術者講習会を修了	❶ 県産木材を延べ面積 0.16 ㎥／㎡以上使用 ❷ CASBEE-戸建（新築）でS評価 ❸ ふるさと信州・環の住まいの認定住宅 ❹ 工事請負者の被雇用者である若手大工とその指導者が施工 ❺ 子供が同居 ❻ 県外から助成対象住宅に移住 ❼ 自然エネルギー設備を導入

※1 信州木材認証製品として認証を受けた木材又は県内で産出されたことが証明できる木材が対象となります。
※2 普及啓発を目的として見学会を実施していただくほか、長野県公式ホームページにて事例紹介をさせていただきます。（個人が特定されない内容のみ。交付申請書をご確認ください。）
※3 断熱・気密、日射遮蔽、設備の省エネルギー性能などのことで、適切な容量の太陽光発電等を導入することで、住宅で消費するエネルギーと同量のエネルギーを生み出すことができ、実質ゼロエネルギーを達成することができる基準です。
※4 ゼロエネ基準をさらに上回る断熱性能基準のことで、小さい容量の太陽光発電でも実質ゼロエネルギーが達成できるほか、容量によっては、住宅で消費するエネルギー以上のエネルギーを生み出すことができるため、エネルギー収支がプラスになる基準です。
※5 省エネルギー性能などのことで、将来的に義務化が見込まれる基準であり、いずれは適合していることが“当たり前”になる基準です。
◎ 詳細は「信州健康エコ住宅助成金交付要綱」、「信州健康エコ住宅助成金交付取扱要領」、「環境配慮型住宅助成金交付要綱」、「環境配慮型住宅助成金交付取扱要領」をご確認ください。

「地域型住宅グリーン化事業」「戸建住宅 ZEH 化等支援事業」「グリーン住宅ポイント制度」など、国が実施する事業や他の国庫補助事業との併用はできません。

申請手続きの流れ



※６ 中間時現場審査は、交付申請に基づき、屋根工事、断熱工事及び気密工事が概ね完了し、かつ、造作工事、内外装工事等により断熱工事及び気密工事に係る部分が覆われる前に行います。
※７ 完了時現場審査は、すべての工事が完了したときに行います。原則として、入居後の実績報告に基づいて行いますが、実績報告に先立って受けたい場合は、実施依頼書の提出により、あらかじめ受けることができます。

募集期間

信州健康エコ住宅助成金 ［いずれも、令和３年度中に中間時現場審査を実施し、交付決定するものが対象］

事業完了※8 の時期	～ 令和４年３月31日	令和４年　４月１日 ～ 令和５年３月31日
募集期間	令和３年４月15日 ～ 令和４年２月15日※9	令和３年11月１日 ～ 令和４年３月15日※9

環境配慮型住宅助成金 ［令和３年度完了分のみの募集］

事業完了※8 の時期	～ 令和４年３月31日
募集期間	令和３年４月15日 ～ 令和４年２月15日※9

※８ 助成対象住宅を新築する工事が完了し、かつ、当該住宅に居住を開始したとき（当該住宅の所在地に住所を変更したとき）が事業完了の日となります。
※９ 先着順で助成対象を決定し、予定額に達した時点で募集を終了します。

申請書類

申請書類の様式はホームページからダウンロードできます。また、添付書類の一覧も掲載しています。

信州健康エコ住宅　https://www.pref.nagano.lg.jp/kenchiku/shinshukenkoeco.html
環境配慮型住宅　https://www.pref.nagano.lg.jp/kenchiku/kankyohairyo.html

申請・お問い合わせ先

助成金の申請先は、申請対象の住宅の建設地を管轄する建設事務所の建築担当課です。

名　称	電話番号
佐久建設事務所建築課	0267-63-3160
上田建設事務所建築課	0268-25-7142
諏訪建設事務所建築課	0266-57-2923
伊那建設事務所建築課	0265-76-6830
飯田建設事務所建築課	0265-53-0468

名　称	電話番号
木曽建設事務所整備・建築課	0264-25-2229
松本建設事務所建築課	0263-40-1935
大町建設事務所整備・建築課	0261-23-6524
長野建設事務所建築課	026-234-9530
北信建設事務所建築課	0269-23-0220

関連する取組のご案内

信州木材認証製品（信州木楽ネット）

信州木材認証製品センター
（電話 026-226-1471）
県産木材の活用に取り組む林業者、取扱店、工務店、設計事務所等の情報を提供しています。

ECOCO（長野県産材 CO_2固定量認証制度）

長野県林務部信州の木活用課
県産材利用推進室
（電話 026-235-7266）
認証証書の発行を受けた住宅は、住宅ローンの金利優遇の対象となる場合があります。

信州 ACE（エース）プロジェクト

長野県健康福祉部健康増進課
（電話 026-235-7112）
世界で一番の健康長寿を目指して、健康づくり県民運動を展開しています。

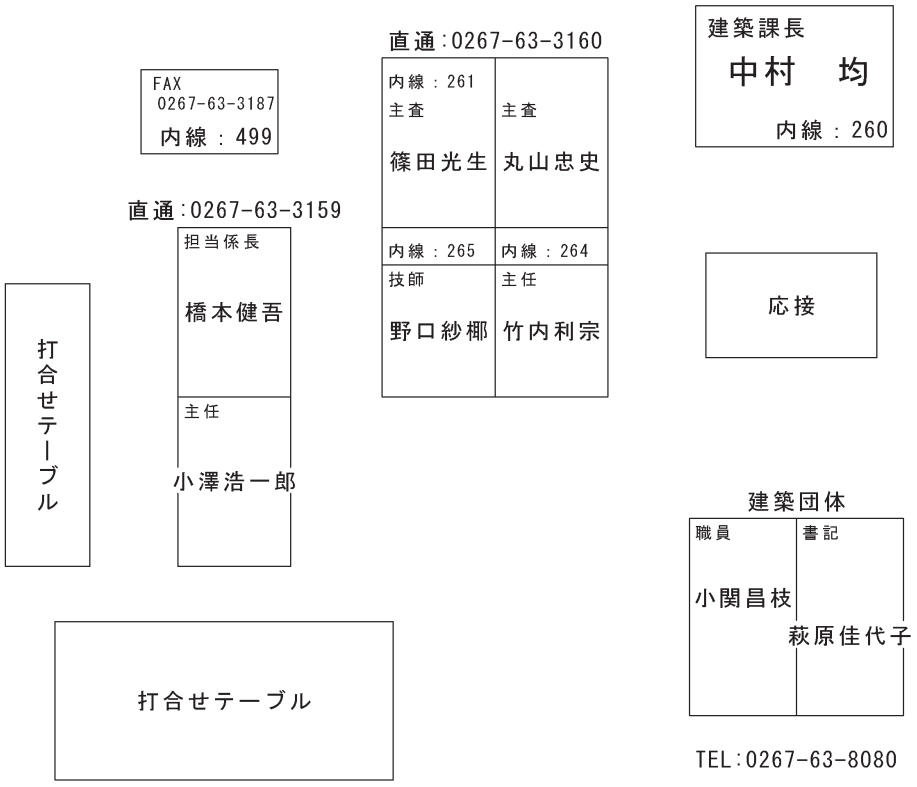
信州健康エコ住宅助成金、環境配慮型住宅助成金の詳しい情報はこちら

長野県建設部建築住宅課建築企画係
〒380-8570 長野市大字南長野字幅下692-2
電話 026-235-7339　FAX026-235-7479
電子メール kenchiku@pref.nagano.lg.jp
信州健康エコ住宅：https://www.pref.nagano.lg.jp/kenchiku/shinshukenkoeco.html
環境配慮型住宅：https://www.pref.nagano.lg.jp/kenchiku/kankyohairyo.html

信州健康エコ住宅 検索　環境配慮型住宅 検索

しあわせ信州

建築課　配置図



＊＊＊＊＊＊　●編集後記●　＊＊＊＊＊＊

最近は、新型コロナウイルス感染が減少傾向ですが、まだ先は見えてきません。デルタ株の爆発的な感染拡大により、各イベント集会の自粛中止、記事取材も、題材の減少も加えて、大きな影響を受けています。

Ｗｅｂ会議での会合編集作業は難航、思った以上に大変な作業になります。又、お忙しい中でも原稿依頼を快く受けて下さった方、本当にありがとうございました。新型コロナウイルス感染の早い終息を願うばかりです。

ＴＹ

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

会報『ちくま』第65号　2021／10

発行者：（公社）長野県建築士会　佐久支部
情報広報委員会
事務局：〒385－8533　佐久市跡部65－１
佐久建設事務所内
TEL 0267－63－8080
FAX 0267－63－3330
E-mail：ken8080@seagreen.ocn.ne.jp
支部HP　http://www.aba-saku.com/
印　刷：ヨダ印刷サービス株式会社
TEL 0267－22－3330

＊＊＊＊＊＊　●編集後記●　＊＊＊＊＊＊

「世の中、思ったように進まない。」、これは新型コロナが蔓延している現在だけではなく、どの時代でも浮世の常で、ご多分に漏れず会報の発行作業もまさにその通り。

もし、思った通り自己の人生が進んでいれば、南の島の一つでも買って、プライベート・ジェットでひとっ飛び、透ける様な透明度の暖かな海を、程良い大きさのクルーザーを操り、セールに受けた風まかせに島々を巡り、惜しげもなく降り注ぐ陽射しの中に浸りたい！

しかし、現世は、落語に出てくる八つぁん熊さんの様に、夢ばっかり見ていられない、手前にある物事から地道にこなすしかない。

情報広報委員会は、支部のホームページのリニューアルと重なり、会報はいつもに輪を掛けて大忙し。

愚痴ってばかりで負のスパイラルに飲まれる訳にはいかない、目の前で繰り広げられる美しい信州の秋を堪能しながらその先を。南洋のクルージングにはお誘いできなく申し訳ないが、ホームページの作成、会報の作成にご興味のある方はぜひご参加を。

Ｔ・Ｒ

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊